

Cisco BroadWorks CommPilot アプリケーション ソフトウェアの脆弱性



アドバイザーID : [cisco-sa-broadworks-ssrf-BJeQfpp](#) [CVE-2022-20951](#)
初公開日 : 2022-11-02 16:00 [CVE-2022-20958](#)
最終更新日 : 2023-01-24 17:26
バージョン 1.1 : Final
CVSSスコア : [8.3](#)
回避策 : No workarounds available
Cisco バグ ID : [CSCwd58339](#) [CSCwd04685](#)
[CSCwd06681](#)

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Cisco BroadWorks CommPilot アプリケーション ソフトウェアの Web ベース管理インターフェイスにおける複数の脆弱性により、認証されたリモートの攻撃者が該当デバイスで任意のコードを実行したり、ネットワーク上の Cisco BroadWorks サーバーや他のデバイスから機密情報を取得したりする可能性があります。

これらの脆弱性の詳細については本アドバイザーの「[詳細情報](#)」セクションを参照してください。

シスコはこれらの脆弱性に対処するソフトウェアアップデートをリリースしています。これらの脆弱性に対処する回避策はありません。

このアドバイザーは、次のリンクより確認できます。

<https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-broadworks-ssrf-BJeQfpp>

該当製品

脆弱性のある製品

これらの脆弱性は、Cisco BroadWorks CommPilot アプリケーション ソフトウェアに影響します。

脆弱性が存在する Cisco ソフトウェアリリースについては、このアドバイザーの「修正済みソ

ソフトウェア」セクションを参照してください。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

このアドバイザリの[脆弱性のある製品セクションに記載されている製品のみが、これらの脆弱性の影響を受けることが分かっています。](#)

詳細

これらの脆弱性は依存関係にはなく、いずれかの脆弱性をエクスプロイトするために、他の脆弱性をエクスプロイトする必要はありません。また、いずれかの脆弱性の影響を受けるリリースであっても、他の脆弱性の影響は受けない場合があります。

脆弱性の詳細は以下のとおりです。

CVE-2022-20958 : Cisco BroadWorks CommPilot アプリケーション ソフトウェアのリモートコード実行の脆弱性

Cisco BroadWorks CommPilot アプリケーション ソフトウェアの Web ベース管理インターフェイスの脆弱性により、認証されたリモートの攻撃者が該当デバイスで任意のコードを実行する可能性があります。

この脆弱性は、ユーザ指定の入力の検証が不十分であることに起因します。攻撃者は、該当デバイスの Web インターフェイスに巧妙に細工された HTTP リクエストを送信することにより、この脆弱性をエクスプロイトする可能性があります。エクスプロイトに成功すると、攻撃者は bworks ユーザーとして該当デバイスで任意のコードを実行できる可能性があります。これにより、攻撃者はファイルシステム内の任意のファイルを読み取ったり、一部の実行中のプロセスを中断したりできます。

シスコはこの脆弱性に対処するソフトウェアアップデートをリリースしています。この脆弱性に対処する回避策はありません。

バグ ID : [CSCwd06681](#)

CVE ID : CVE-2022-20958

セキュリティ影響評価 (SIR) : 高

CVSS ベーススコア : 8.3

CVSS ベクトル : CVSS:3.1/AV:N/AC:L/PR:L/UI:N/S:U/C:H/I:L/A:H

CVE-2022-20951 : Cisco BroadWorks CommPilot アプリケーション ソフトウェアのサーバーサイド リクエスト フォージェリの脆弱性

Cisco BroadWorks CommPilot アプリケーション ソフトウェアの Web ベース管理インターフェイスの脆弱性により、認証されたリモートの攻撃者が該当デバイスに対してサーバーサイド リクエスト フォージェリ (SSRF) 攻撃を実行する可能性があります。

この脆弱性は、ユーザ指定の入力の検証が不十分であることに起因します。攻撃者は、該当デバイスの Web インターフェイスに巧妙に細工された HTTP リクエストを送信することにより、この脆弱性を 익스プロイトする可能性があります。 익스プロイトに成功すると、攻撃者は Cisco BroadWorks サーバーやネットワーク上の他のデバイスから機密情報を取得できる可能性があります。

シスコはこの脆弱性に対処するソフトウェアアップデートをリリースしています。この脆弱性に対処する回避策はありません。

バグ ID : [CSCwd04685](#)、[CSCwd58339](#)

CVE ID : CVE-2022-20951

セキュリティ影響評価 (SIR) : 高

CVSS ベーススコア : 7.7

CVSS ベクトル : CVSS:3.1/AV:N/AC:L/PR:L/UI:N/S:C/C:H/I:N/A:N

回避策

これらの脆弱性に対処する回避策はありません。

修正済みソフトウェア

シスコはこのアドバイザリに記載された脆弱性に対処する無償のソフトウェアアップデートをリリースしています。通常のソフトウェアアップデートが含まれるサービス契約をお持ちのお客様は、通常のアップデートチャンネルからセキュリティ修正を取得する必要があります。

お客様がインストールしたりサポートを受けたりできるのは、ライセンスをご購入いただいたソフトウェアバージョンとフィーチャセットに対してのみとなります。そのようなソフトウェアアップグレードをインストール、ダウンロード、アクセスまたはその他の方法で使用した場合、お客様は以下のリンクに記載されたシスコのソフトウェアライセンスの条項に従うことに同意したことになります。

<https://www.cisco.com/c/en/us/products/end-user-license-agreement.html>

また、お客様がソフトウェアをダウンロードできるのは、ソフトウェアの有効なライセンスをシスコから直接、あるいはシスコ認定リセラーやパートナーから取得している場合に限りです。通常、これは以前購入したソフトウェアのメンテナンス アップグレードです。無償のセキュリティソフトウェアアップデートによって、お客様に新しいソフトウェアライセンス、追加ソフトウェアフィーチャセット、またはメジャー リビジョン アップグレードに対する権限が付与されることはありません。

Cisco.com の [Cisco Support and Downloads ページ](#)には、ライセンスとダウンロードに関する情報が記載されています。このページには、[マイデバイス (My Devices)] ツールを使用するお客様のカスタマーデバイスサポート範囲も表示できます。

[ソフトウェアのアップグレード](#)を検討する際には、シスコ セキュリティ アドバイザリ ページで

入手できるシスコ製品のアドバイザリを定期的に参照して、侵害を受ける可能性とアップグレードソリューション一式を確認してください。

いずれの場合も、アップグレードするデバイスに十分なメモリがあること、および現在のハードウェアとソフトウェアの構成が新規リリースで引き続き正しくサポートされていることを十分に確認してください。不明な点については、Cisco Technical Assistance Center (TAC) もしくは契約しているメンテナンスプロバイダーにお問い合わせください。

サービス契約をご利用でないお客様

シスコから直接購入したがシスコのサービス契約をご利用いただいていない場合、また、サードパーティベンダーから購入したが修正済みソフトウェアを購入先から入手できない場合は、Cisco TAC (https://www.cisco.com/c/ja_jp/support/web/tsd-cisco-worldwide-contacts.html) に連絡してアップグレードを入手してください。

無償アップグレードの対象製品であることを証明していただくために、製品のシリアル番号と、本アドバイザリの URL をご用意ください。

次の表では、左の列にシスコ ソフトウェアリリースを記載しています。2 番目の列は、これらの脆弱性に対するパッチがリリースされたかどうか、およびパッチを検索できるリリース番号を示しています。右側の列には、利用可能なパッチのファイル名が一覧表示されます。このセクションの表に記載されている適切な [修正済みソフトウェアリリース](#) にアップグレードすることをお勧めします。

Cisco BroadWorks CommPilot アプリケーション ソフトウェア リリース	First Fixed Release (修正された最初のリリース)	CVE-2022-20958 のパッチ ファイル名	CVE-2022-20951 のパッチ ファイル名
23.0 より前	修正済みリリースに移行します。 1。	-	-
23.0	CommPilot-23 バージョン 2022.11_1.273	AP.as.23.0.1075.ap383998 AP.xsp.23.0.1075.ap383998	AP.as.23.0.1075.ap384389 AP.xsp.23.0.1075.ap384389
24.0	CommPilot-24 バージョン 2022.11_1.273	AP.as.24.0.944.ap383998	AP.as.24.0.944.ap384389
25.0	CommPilot-25 バージョン 2022.11_1.273	-	-

1. リリース 23.0 より前の Cisco BroadWorks CommPilot アプリケーション ソフトウェア リリースは、ソフトウェアメンテナンスが終了しています。これらの脆弱性が修正済みのサポート対象リリースに移行することをお勧めします。

Product Security Incident Response Team (PSIRT; プロダクト セキュリティ インシデント レスポンス チーム) は、このアドバイザリに記載されている該当するリリース情報と修正されたリリース情報のみを検証します。

不正利用事例と公式発表

Cisco PSIRT では、本アドバイザリに記載されている脆弱性の不正利用事例とその公表は確認しておりません。

出典

これらの脆弱性は、Cisco TAC のサポート案件の対応時に発見されました。

URL

<https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-broadworks-ssrf-BJeQfpp>

改訂履歴

バージョン	説明	セクション	ステータス	日付
1.1	CSCwd58339 を追加し、修正済みリリースとパッチファイル名を更新。	詳細および修正済みソフトウェア	Final	2023 年 1 月 24 日
1.0	初回公開リリース	—	Final	2022 年 11 月 2 日

利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。